

試験研究成果普及情報

部 門	花 植 木	対 象	普 及
課題名：葉腐病（ラ - ジパッチ）耐病性コウライシバ「ちばフェアグリ - ン」の特性			
[要約]「ちばフェアグリ - ン」は、葉腐病（ラージパッチ）耐病性が強く、初冬期緑色保持性が高く、再生力に優れ、オ - バ - シディング適応性がある。			
キーワード（専門区分） 育種 （研究対象） 芝草 （汎キーワード） 葉腐病（ラージパッチ）耐病性、初冬の緑色保持性、オ - バ - シ - ディング			
実施機関名（主 査）農業総合研究センター生産技術部花き緑化研究室 （協力機関） （実施期間）1995年度～2002年度			

[目的及び背景]

本県では、無農薬管理下で維持管理可能な芝草の育成を目的として、日本芝（ノシバ、コウライシバ）の品種開発に取り組んでいる。ノシバ、コウライシバに発生する各種の病害虫の中で、葉腐病（ラ - ジパッチ）は、最も重要な病害となっている。そこで、日本シバ在来系統の中からラ - ジパッチに耐病性のある品種「ちばフェアグリ - ン」を育成した。本品種の特性を明らかにする。

[成果内容]

1．形態

「ちばフェアグリ - ン」の葉身長は12.7cmで、対照品種の「メイヤ - 」より短く、「エメラルド」よりやや長い。葉身幅は2.2mmで「メイヤ - 」より狭く、「エメラルド」とほぼ同じで、形態はコウライシバと同様である（表1）。

2．ラージパッチ耐病性

「ちばフェアグリ - ン」は、いずれの調査年においても他の系統に比べて低く、ラ - ジパッチに対する耐病性が高い（図1）。

3．初冬季緑色保持性

「ちばフェアグリ - ン」は、秋以降の緑度の低下が他の系統に比べ緩やかで 初冬の緑色保持性が高い（図2）。

4．再生力

「ちばフェアグリ - ン」の被覆度は、他の系統及び品種に比べて高く推移し、ほふく茎の伸長速度が速い（図3）。

5．オ - バ - シ - ディング適応性

「ちばフェアグリ - ン」に対しペレニアルライグラスをオ - バ - シ - ディングしたところ、春の萌芽及びその後のランジッションが正常に認められ、オ - バ - シ - ディング適応性が高い（図4）。

[留意事項]

校庭等踏圧の激しい環境では、冬期の休眠期間中の踏圧による傷害を回避するため、オ - バ - シ - ド専用ペレニアルライグラスをオ - バ - シ - ディングする。

[普及対象地域]

ゴルフ場、公園、校庭、屋上緑化、サッカーグラウンド

[行政上の措置]

2004年3月から普及推進の一環として、千葉県芝草管理技術者会の協力を得て、2ゴルフ場のティ - グラウンドで各100㎡の展示を行っている。

[普及状況]

県内芝生産業者に許諾。2004年は、2000m²増殖。

[成果の概要]

表1 ちばフェアグリーン及び対照品種の葉の形状 (2001年6月20、21日)

品種名	葉身長 (cm)		葉身幅 (mm)		葉色 (JHS)
ちばフェアグリーン	12.67	a	2.23	a	穩緑
メイヤー	20.71	b	3.78	b	穩緑
エメラルド	9.24	c	2.05	a	穩緑

注) 表中のアルファベットは、チューキーの多重比較検定の結果を示す。葉色は、日本園芸植物標準色票に基づく値。

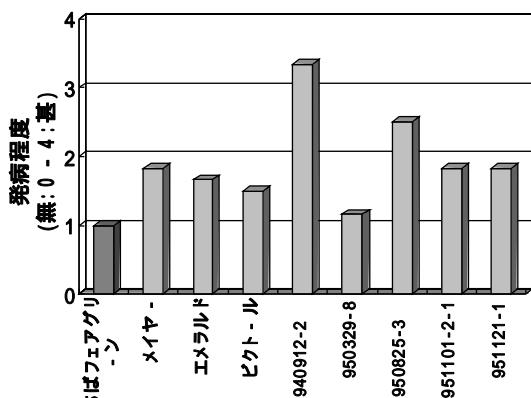


図1 選抜コウライシバ及び品種のラジパッチ耐病性の違い (2000年10月29日)

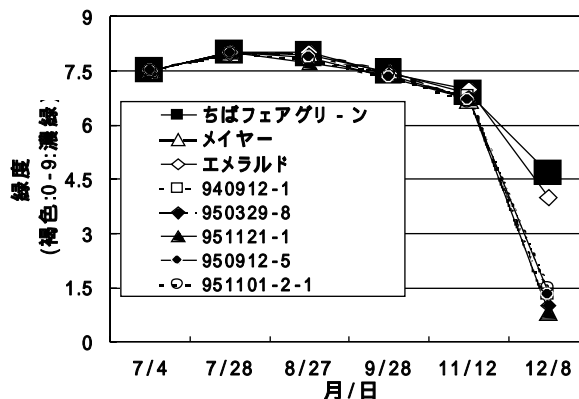


図2 ちばフェアグリーンの緑度保持性 (1998年)

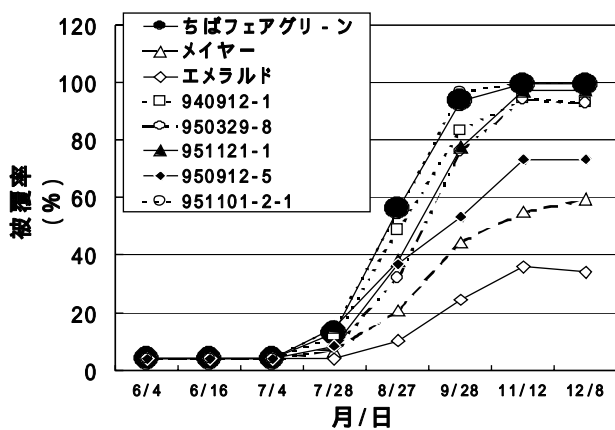


図3 ちばフェアグリーンの生育量 (1998年)

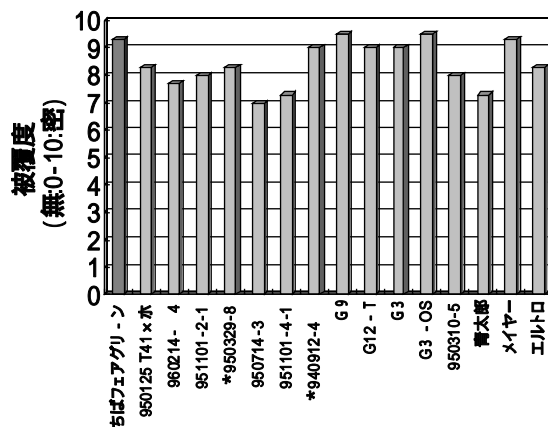


図4 オバシディグした芝草のランジション特性 (2000年9月29日) 注) 供試個体34個体中上位16個体。

[発表及び関連文献]